

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

謹白



項目名

- 活性型レニン定量/CLEIA (依頼コード No.13518)
- アルドステロン/CLEIA-血漿 (依頼コード No.13485)
- アルドステロン/CLEIA-尿 (依頼コード No.13522)
- PAC/PRA(アルドステロン・レニン活性比) (依頼コード No.13496)
- PAC/ARC(アルドステロン・活性型レニン定量比) (依頼コード No.13497)

受託開始日 2021年1月5日(火) ご依頼分より

レニンとアルドステロンは血圧調節に働く物質で、レニン-アンギオテンシン-アルドステロン系(RAA系)として知られています。

日本内分泌学会による「原発性アルドステロン症(PA)診断の手引き」では、PAスクリーニング法として、血漿アルドステロンと血漿レニン活性または活性型レニン定量を測定し、その比を目安にすることを推奨しています。

この度、アルドステロン検査および活性型レニン定量検査において、CLEIA法試薬による検査を導入し、受託を開始いたします。

今回アルドステロン検査で使用する試薬は、日本内分泌学会の公告に基づき開発された標準化対応試薬となります。

- 当該検査の受託開始に伴い、現行の「依頼コードNo.02601:活性型レニン定量」、「依頼コードNo.00712:アルドステロン」、「依頼コードNo.00183:アルドステロン-尿」、「依頼コードNo.01153:PAC/PRA」、「依頼コードNo.03537:PAC/ARC」は2021年3月31日(水)ご依頼分をもちまして検査の受託中止を予定しております。

次ページに続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3

総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1

☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play

Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル

Qualis
Medical Station

受託要領一覧

●活性型レニン定量/CLEIA

新規受託開始項目		ご参考：現行の内容
依頼コードNo.	13518	02601
検査項目名	レニン定量/CLEIA	活性型レニン定量
統一コード	4Z020-0000-022-052	4Z020-0000-022-006
検体必要量	血漿 0.5mL	血漿 0.7mL
容器	B-7→S-1	同左
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	CLEIA法	IRMA法(RIA・固相法)
基準値	2.21~39.49	臥位：2.5~21.4 立位：3.6~63.7
単位	pg/mL	同左
報告範囲	0.20未満~1000000以上	2.4以下~最終値
報告桁数	小数第2位	小数第1位
検査実施料/判断料	108点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左
備考	早朝15分以上座位にて安静後、指定の容器に採血してください。十分混和し速やかに遠心、血漿分離してください。報告値が10000.00以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	早朝安静状態で採血。 ヘパリン血漿不可、速やかに冷却遠心、血漿分離してください。

【検査方法の参考文献】

佐藤文俊, 他: 医学と薬学 76, 1827-1832, 2019.

●アルドステロン/CLEIA-血漿

新規受託開始項目		ご参考：現行の内容
依頼コードNo.	13485	00712
検査項目名	アルドステロンCLEIA	アルドステロン(pg/mL単位)
統一コード	4D115-0000-022-052	4D115-0000-023-005
検体必要量	血漿 0.5mL	血清 0.6mL または 血漿 0.6mL
容器	B-7→S-1	B-1→S-1、B-7→S-1
検体の保存方法	凍結	同左
所要日数	2~3	同左
検査方法	CLEIA法	RIA・固相法
基準値	4.0~82.1	随時：35.7~240.0 臥位：29.9~158.8 立位：38.9~306.8
単位	pg/mL	同左
報告範囲	4.0未満~2000000.0以上	10.0以下~最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	125点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左
備考	早朝15分以上座位にて安静後、指定の容器に採血してください。十分混和し速やかに遠心、血漿分離してください。報告値が100000.0以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	早朝安静状態で採血。 レニン活性、活性型レニン定量と共用する場合は、速やかに冷却遠心、血漿分離してください。

【検査方法の参考文献】

佐藤文俊, 他: 医学と薬学 76, 1819-1826, 2019.

●アルドステロン/CLEIA-尿

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
依頼コードNo.	13522	00183
検査項目名	アルドステロン/CL-尿	アルドステロン-尿
統一コード	4D115-0000-004-052	4D115-0000-004-005
検体必要量	蓄尿 1.0mL(一般尿 1.0mL)	同左
容器	U-1	同左
検体の保存方法	凍結	冷蔵
所要日数	3~5	同左
検査方法	CLEIA法	RIA・固相法
基準値	1.0~19.3	7.5以下
単位	μg/day(一般尿：pg/mL)	同左
報告範囲	0.1未満~最終値 (一般尿：68.3未満~60000000以上)	0.1以下~最終値 (一般尿：300.0以下~最終値)
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	125点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左
備考	添加剤無しで24時間蓄尿し、尿量測定後、速やかに必要量を凍結して提出してください。ご依頼時に尿量をご記入ください。	トルエン1~2mLを加え24時間蓄尿。尿量を記入し必要量を提出してください。

【検査方法の参考文献】

佐藤文俊, 他: 医学と薬学 76, 1819-1826, 2019.

●PAC/PRA(アルドステロン・レニン活性比)

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
依頼(報告)コードNo.	13496(親) (子)22717 PAC RIA相当値 (子)22718 比	01153(親) (子)02681 PAC (子)02682 PRA (子)02683 PAC/PRA
検査項目名	PAC/PRA	同左
統一コード	4D120-0000-022-919	同左
所要日数	3~4	2~3
検査方法	計算法	RIA・固相法、EIA法
基準値	比：200以下(カットオフ値)	アルドステロン及びレニン活性参照
単位	PAC RIA相当値：pg/mL 比：なし	PAC : pg/mL PRA : ng/mL/hr PAC/PRA：なし
報告範囲	PAC RIA相当値：(*補正式より算出) 47.0未満~2348000.0以上 比：1~10000000	PAC : 10.0以下~最終値 PRA : 0.2未満~450.0以上 PAC/PRA：1~9999
報告桁数	PAC RIA相当値：小数第1位 比：整数	PAC、PRA：小数第1位 PAC/PRA：整数
備考	PAC/PRA(アルドステロン/レニン活性比)は、アルドステロンCLEIA(依頼コードNo.13485)とレニン活性(依頼コードNo.01151)の2項目と同時に ご依頼ください。 *PAC RIA相当値の計算式 RIA相当値 = アルドステロンCLEIA値 × 1.174 + 42.3 報告値が100000.0以上となる場合は、 別紙報告となりますのでご了承ください。	アルドステロン及びレニン活性参照。 アルドステロン、レニン活性の各測定値も報告いたします。

●PAC/ARC(アルドステロン・活性型レニン定量比)

	新規受託開始項目	ご参考：現行の内容
依頼(報告)コードNo.	13497(親) ----- (子)22719 PAC RIA相当値 (子)22720 比	03537(親) ----- (子)07887 PAC (子)07888 ARC (子)07909 PAC/ARC
検査項目名	PAC/ARC	同左
統一コード	4D122-0000-022-919	同左
所要日数	3~4	2~3
検査方法	計算法	RIA・固相法
基準値	比：40以下(カットオフ値)	アルドステロン及びレニン定量参照
単位	PAC RIA相当値：pg/mL 比：なし	PAC、ARC：pg/mL PAC/ARC：なし
報告範囲	PAC RIA相当値：(*補正式より算出) 47.0未満~2348000.0以上 比：1~10000000	PAC：10.0以下~最終値 ARC：2.4以下~最終値 PAC/ARC：1~9999
報告桁数	PAC RIA相当値：小数第1位 比：整数	PAC、ARC：小数第1位 PAC/ARC：整数
備考	PAC/ARC(アルドステロン/活性型レニン定量比)は、アルドステロンCLEIA(依頼コードNo.13485)と活性型レニン定量(依頼コードNo.13518)の2項目と同時にご依頼ください。 *PAC RIA相当値の計算式 RIA相当値 = アルドステロンCLEIA値 × 1.174 + 42.3 報告値が100000.0以上となる場合は、別紙報告となりますのでご了承ください。	アルドステロン及びレニン定量参照。 アルドステロン、レニン定量の各測定値も報告いたします。

アルドステロン・レニン比をご依頼時の注意事項

- アルドステロン・レニン比は「アルドステロン+レニン活性+PAC/PRA」または「アルドステロン+活性型レニン定量+PAC/ARC」の同時依頼があった場合のみ結果報告いたします。
- アルドステロン・レニン比のPAスクリーニングカットオフ値は従来のRIA法アルドステロン値を元に設定されております。そのカットオフ値を継続して使用するために、アルドステロンCLEIA値をRIA相当値として補正したデータを使用して算出いたします。
- アルドステロン・レニン比は、アルドステロンのRIA相当値と比の2つの結果をご報告いたします。
参考URL：http://www.j-endo.jp/modules/news/index.php?content_id=55
(日本内分泌学会:日常臨床におけるアルドステロン測定標準化に関する運用指針(第二版))

負荷コード一覧

●活性型レニン定量/CLEIA

負荷コード								
前	15分	30分	60分	90分	120分	150分	180分	後
43962	43963	43964	43965	43966	43967	43968	43969	43971

●アルドステロン/CLEIA-血漿

負荷コード								
前	15分	30分	60分	90分	120分	150分	180分	後
43771	43772	43773	43774	43775	43776	43777	43778	43780